

個人質問

32人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

全員の個人質問は市議会ホームページのインターネット議会中継で配信しています。

暮らし・教育

Life Education

アプリ導入で家庭ごみの 適正な分別推進を

問 ごみの減量化、資源化や適正分別をどう進めていくのか。

答 啓発が重要と考えており、平成27年10月にごみ減量・リサイクルガイド「どーすりゃええ？」を全戸配布した。

28年4月からは、透明食品トレーやボタン電池・充電式電池の回収をスタートする。また、段ボールを利用した家庭での生ごみ堆肥化事業も28年度に実施する。さらに、若年層への新たな情報発信として、ごみ分別アプリの導入など、積極的な啓発に努めていく。



災害に強いまちへ

問 ①平成28年度末の備蓄物資の状況と、小・中学校への配備状況は。

②市有施設の耐震化により防災拠点としての活用等は見込めるのか。

答 ①本市では、25年度から岡山市備蓄計画に基づく備蓄を進め、28年度の配備予定数量を加えると、計画全体の約80パ



市有施設に備蓄されている物資

セントになる。小・中学校へは、これまで7校に配備しており、27年度は35校へ配備する。備蓄場所を分散しながら増やしていく中で、集中備蓄も含め全体のバランスを取っていく。

②市有施設の建て替え、増改築等を行う場合や、新規施設等の計画を立てる場合には、施設管理者に防災機能の充実を依頼しており、一時避難場所の拡充や備蓄倉庫の耐震化等につながると考えている。

小規模企業振興基本法を 実現させる条例を

問 条例づくりの基礎となる実態調査に早急に取り組んでは。

答 中小企業振興条例の見直しは進めていかなければならないと考えている。

現在、産業振興施策検討の基礎資料とするため、中小企業振興、産業構造の分析・評価の観点から、本市産業の特徴と課題や、今後成長が期待できる分野等に関して、外部専門家による客観的な調査分析を実施している。その結果等を基に、今後の議論を深めていきたい。

3公民館にインターネット予約 図書の貸し出し窓口を設置

問 高松・福田・高島公民館で

モデル実施を予定している「インターネット予約図書の受取・返却窓口拡充事業」の目的と役割、スケジュールは。

答 市立図書館でインターネットによる図書の予約数が大幅に増加する中、図書館から離れた地域での利便性を高めるため、市民に身近な公民館へ貸し出し窓口を設置する。図書館と公民館をオンラインでつなぐネットワークの接続工事やコンピュータの導入など準備期間が必要なため、平成28年7月ごろの開始を予定している。

模擬投票で若年層へ選挙啓発

問 公職選挙法改正で選挙権を得る高校生等への関わり方は。

答 小・中学校で実施していた選挙出前授業を、28年2月までに市内の5高校でも実施した。

出前授業では、選挙制度や投票方法について説明し、投票のテーマ、候補者を学校で決め、投票管理者や投票立会人、名簿対象係や投票用紙交付係を生徒が行い、実際の投票所を再現して模擬投票を行った。

今後も県選挙管理委員会、本市教育委員会と連携し、引き続き若年層への啓発を実施していく。



模擬投票をする高校生

福祉・健康

Welfare
Health

軽自動車と納税通知書

身体障害者2級の
軽自動車税減免を拡充

問 本市も県の基準と同様に減免すべきでは。今後の対応は。

答 平成28年度から全額減免を予定している。5月の納税通知書送付時期にあわせて、「市民のひろばおかやま」や「障害者のしおり」を通じてお知らせするとともに、福祉担当課とも相談しながら、福祉団体など関係者へも、丁寧かつ確実な周知を図っていく。

婚姻歴のないひとり親家庭にも
寡婦（夫）控除の適用を要望

問 保育料で行っている、みなし寡婦（夫）による減免を、他に広げる考えは。

答 寡婦（夫）控除が未婚のひとり親にも適用されるべきと考え、平成27年度の政令指定都市児童福祉主管課長会議で本市から提案し、政令市の総意として所得税法等改正の要望を国へ行っている。

保護者が安心できる
保育環境の提供を

問 病児・病後児保育事業推進の取り組みは。保育中に体調を崩す児童への対応は。

答 本市では、市内6福祉事務所管内で1カ所ずつ事業を実施

する計画を立てているが、現在は5カ所にとどまっている。重要な取り組みの一つと考えており、引き続き、新たに事業を担ってもらえる医療機関の確保に、岡山市医師会等の協力を得ながら努めていきたい。

また、急な発熱等による体調不良児への対応は切実な問題であり、十分な問題意識を持って研究・対応する。



善隣館を家庭的な養育環境に

問 施設の形態を変えて小規模化するべきでは。

答 キッチン、風呂、居間などを備えた家庭に近い独立した環境で、一定の職員が児童6～8人を養育していく小規模グループ化の実施について検討を重ねてきたが、改修するには建築基準法上の問題が出てきた。そのため当面は耐震化と小規模改修で対応せざるを得ない。

国は児童養護に関し、施設の小規模化や里親委託等を推進し、できる限り家庭的な養育環境に変えていく方針を示しており、小規模グループ化の趣旨に沿うような改修を検討していく。

特定健康診断の受診率アップを

問 健診率向上に医療費分析を役立てては。

答 現在行っている岡山市国民健康保険の医療費分析では、本

市の特徴として、一人当たりや一日当たりの医療費が、全国に比べて相当高い傾向が出ている。また、高血圧性の疾患や糖尿病などで、地域ごとの受診率や病気になるリスクに大きな違いが見られる。

今後、平成28年6月頃に分析をまとめ、市民に結果を発表するとともに、中学校区単位の特定健康診断受診率や課題について地域の各種団体に知らせ、協力を依頼し、受診率向上に役立てていく。

聴覚障がい者に介護予防事業への参加を呼び掛け

問 聴覚障がい者はコミュニケーションにハンディを抱えるなどの理由で、地域や施設で孤立し認知症が進行してしまうこともある。予防への取り組みは。

答 介護予防センターでは、NPO法人岡山聴覚障害者支援センターが開く学習会に出向き、介護予防事業への聴覚障がい者の参加を呼び掛けている。介護予防教室へ参加希望があれば、NPO法人に取りまとめてもらい、介護予防センター開催の「毎週・毎月介護予防教室」のうち2カ所で手話通訳者を依頼し、参加してもらっている。今後も聴覚障がい者にも介護予防に取り組んでもらえるよう努めていく。



毎週・毎月介護予防教室の様子

市民協働・まちづくり Community Planning

市民活動団体と行政をつないで
新たな協働モデル事業を

問 ① ESD・市民協働推進センターの活動状況は。

② コーディネート機関として、機能強化の必要性は。

答 ① 課題解決ワークショップを開催したり、市民活動団体等からの協働提案を関係課につないで、平成28年2月末現在で延べ124件の協働に関する相談や協議の場を調整した。LGBTの当事者アンケートなどのニーズ調査事業をはじめ、新たな協働モデル事業の提案も8件生まれた。

② 28年度はこれまでの事業に加え、市民協働推進本部、協働推進員との連携を進め、コーディネート機能の一層の強化を図っていく。

柔軟な計画運用で産業振興を

問 企業誘致に向けて、※9市街化調整区域の地区計画運用指針を見直しては。

答 指針では、「市街化調整区域は市街化を抑制すべき区域」という基本理念を踏まえ、産業振興型地区計画を策定できる区域や規模などの要件を本市の土地利用の状況に即して定めている。現在、産業用地の確保に向けて、物流軸の沿線等で、地区計画が適用できる土地の調査を行っているが、平成28年度は物流軸沿線以外にも調査を広げる予定。調査結果を企業誘致のために有効に活用し、必要であれば地区計画の運用の仕方についても検討したい。

市民協働で

魅力的な公園づくりを

問 西川緑道公園や石山公園の



多くの人でにぎわう石山公園

パークマネジメントに、市民協働で取り組むべきでは。

答 平成28年度に、利用者、地域住民、NPO、公園管理者等が参加する協議体を作り、両公園の現状評価を行う。石山公園では景観を生かした観光と市民活動が共存するための目標を、西川緑道公園では周辺のまちと一体となってにぎわいをつくるための目標を設定し、一般市民や観光客が気持ちよく使うためのルールを作っていく。

専門職員を配置して
自主防犯活動を支援

問 地域防犯ボランティア支援事業の具体的な内容は。

答 地域防犯ボランティア団体は、通学路での見守りや声掛け、夜間を含めたパトロールなど、地域の防犯に重要な役割を果たしているが、多くの団体で高齢化や後継者不足などが課題になっている。そこで、平成28年度は、防犯や交通安全の専門知識や経験を持つ職員を本市生活安全課に配置し、自主防犯活動をする上で注意すべき点の指導や、効果的な活動が行えるよう助言を行うなど、団体の活性化や育成を支援する。

用水路の一斉点検で
優先度に応じた対策の実施

問 ①一斉点検の方法は。②個別に用水路対策の要望があった場合、どのように対応するのか。

答 ①平成28年度に危険箇所抽出を目的として、地元の力を借りて点検を実施してもらい、その結果を記載した調書等の提出を想定している。

②地元から一斉点検以外で危険箇所が出てきた場合は、従来通り町内会長等から要望書を提出してもらうことを考えており、一斉点検の結果と同様に優先度に応じて対策を実施していく。

おかやま国際音楽祭

10年目の集大成

問 国際と名付けて10年目の取り組みと今後の方針は。

答 おかやま国際音楽祭2016を10年目の集大成と位置付け、「水と緑の都市空間を音楽に染め、誰もが主役になれる祭典」として、神社などの地域資源を活用した複数のコンサート、市民の企画運営による野外コンサート、ウィークデーに5日間連続で市民が街角で演奏するステージなどを開催する。

平成29年度以降は、都市空間を活用した屋外コンサートを中心に、誰でも気軽にさまざまなジャンルの音楽にふれられる事業を展開し、市民ニーズなどをもとに基本方針を見直して、にぎわいの創出につなげたい。



下石井公園での野外コンサート

◆用語解説 ※9【市街化調整区域の地区計画運用指針】

集落地域の維持や産業用地の確保などの本市の課題に対応し、優良農地など保全すべき地域は的確に保全する一方、改善すべき地域では、地域主導の計画的な土地利用を誘導するなど、バランスの取れた土地利用の実現を目指すための基準

議会トピックス

インターネット議会中継がスマートフォン、タブレット端末でも見られます

平成28年4月1日から、インターネット議会中継が、スマートフォン、タブレット端末でも視聴できるようになりました。

生中継と、過去2年間に開催された本会議の録画をご覧ください。

ぜひ、インターネット議会中継をご覧ください。



岡山市議会 議会中継

検索

表紙をリニューアル！！

あらゆる世代の方に興味を持っていただけるよう、市議会広報紙の表紙をカラー化してリニューアルし、タイトルも「GIKAI-STYLE」に変更しました。

～なぜGIKAI-STYLE（ギカイスタイル）～

スタイルには、「文章などの表現形式」「個人や集団の固有の考え方や行動のしかた」という意味もあります。岡山市議会の考え方などをわかりやすく伝えたいという思いを込めました。

【今号の表紙】点字ブロック

1967年3月18日、岡山県立岡山盲学校に近い、国道2号（現：国道250号）原尾島交差点周辺（岡山市中区）に世界で初めて敷設されました。

この場所には、点字ブロック完成の歴史がモニュメントとして刻まれています。



【1月】

- 15日 総務委員会
- 22日 市民文教委員会

【2月】

- 1日 建設委員会
- 4日 議会活動に関する検討会議
- 5日 保健福祉委員会
- 12日 議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会

建設委員会

- 19日 総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教委員会及び同協議会
- 22日 議会活動に関する検討会議
- 24日 2月定例市議会開会

【3月】

- 2日～4日 5会派による代表質問
- 4日 議会運営委員会
- 4日～11日 32人の議員による個人質問

- 14日 総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教委員会

- 15日 総務、保健福祉、経済、市民文教委員会

- 16日 保健福祉、市民文教委員会

- 18日 建設、総務委員会

- 議会運営委員会

- 22日 2月定例市議会閉会

- 議会活動に関する検討会議

【4月】

- 14日 議会運営委員会

次回臨時・定例市議会の開催予定

5月臨時市議会

《5月18日》

6月定例市議会

《6月10日》本会議開会日（議案-提案説明）

《6月16日～22日》本会議（個人質問）

《6月23日》常任委員会

《6月28日》本会議最終日（採決）

編集後記

2月定例市議会では、平成28年度に取り組むさまざまな政策や施策が盛り込まれた当初予算案等を審議しました。

現在の議会運営委員会のメンバーとなって、1年が経過しようとしています。この1年間、市議会テレビの放送や広報紙の表紙リニューアル、インターネット議会中継のスマートフォン・タブレット端末への対応など、市議会の情報発信に努めてまいりました。

今後も、市民の皆様には議会動きをわかりやすくお伝えできるよう取り組んでいきます。